

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】湯沢町バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km ²)
25	2008.4.30			新潟県	湯沢町	8,713	357
構想の要約		宿泊施設等から大量に発生する生ごみや廃食用油、また未利用間伐材等の利活用を図るため、バイオガス化施設、バイオディーゼル燃料化施設、木質固形燃料化施設を整備することにより、住民・観光・環境との共生による循環型社会の構築を目指す。					
構想に盛り込まれた事業		1. バイオガス化事業 2. バイオディーゼル燃料化事業 3. 木質固形燃料化事業					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス				
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物
家畜排せつ物		稲わら・もみがらなど	○	資源作物
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部		
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○	
廃食用油	○	果樹剪定枝		
水産加工残さ		竹材		
製材工場等残材	○	その他()		
建設発生木材				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○			
古紙・廃業紙				
下水汚泥など	○			
その他(ダム流木)	○			

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化		直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他(木工品)	○	炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事
2010.5.11	2008.4.30バイオマスタウン構想公表(JORA策定協力)

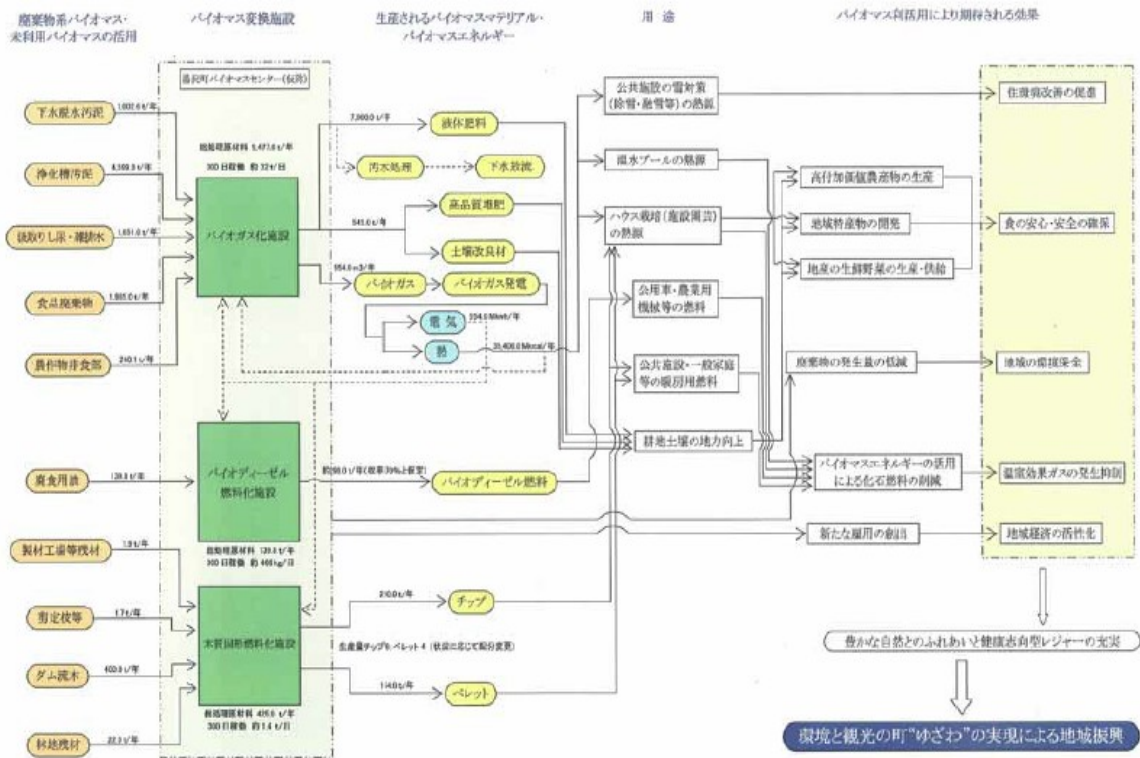
実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス	賦存量 (t/年)	炭素換算量 (t-c/年)	全体比 (%)	利用計画	仕向量 (t/年)	炭素換算量 (t-c/年)	炭素換算 利用率(%)
廃棄物系バイオマス							
下水汚泥	1,002.6	77.0	14.8	メタン発酵	1,002.6	77.0	100
浄化槽汚泥	4,599.0	88.3	16.9	メタン発酵	4,599.0	88.3	100
汲み取り尿・雑排水	1,651.0	31.7	6.2	メタン発酵	1,651.0	31.7	100
食品廃棄物	2,481.3	109.7	21.0	メタン発酵	1,985.0	87.8	80
廃食用油	174.8	124.8	24.0	バイオ燃料	139.8	99.8	80
製材工場等残材	1.9	0.4	0.0	木質固形燃料	1.9	0.4	100
剪定枝等	1.7	0.4	0.0	木質固形燃料	1.7	0.4	100
ダム流木	400.0	89.1	17.1	木質固形燃料	400.0	89.1	100
小 計	10,312.3	521.4	100		9,781.0	474.5	91.0
未利用系バイオマス							
農作物非食部 (もみ殻・稲ワラ)	600.3	171.9	94.0	堆肥	240.1	68.8	40
林地残材	49.6	10.8	6.0	木質固形燃料	22.3	4.9	45
小 計	649.9	182.7	100		262.4	73.7	40.3
合 計	10,962.2	704.1	100		10,043.4	545.5	77.8

バイオスタウン構想概要図

(バイオスタウン構想書からコピー)



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	<p>添付別紙(パンフレット等)参照</p> <p>(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)</p>
-------	--